

A photograph of the Nakatsu City Hospital building, a multi-story structure with a sign on top that reads '中津市民病院'. The building is surrounded by cherry blossom trees in full bloom. In the foreground, there is a paved area with a few cars and a small structure. The sky is clear and blue.

中津市民病院改革プラン(概要版)

中津市民病院

改革プラン策定の趣旨

「経済財政改革の基本方針2007について」（平成19年6月19日閣議決定）において、社会保障改革の一環として公立病院改革に取り組むことが明記され、「総務省は、平成19年内に各自治体に対し公立病院改革ガイドラインを示し、経営指標に関する数値目標を設定した改革プランを策定するよう促す」とされた。

公立病院改革ガイドラインのポイント

1. 公立病院の必要性
2. 公立病院改革プランの策定
 - ①平成20年度内に公立病院改革プランを策定
 - ②果たすべき役割及び一般会計負担の考えを明記
 - ③経営の効率化
 - ④再編・ネットワーク化
 - ⑤経営形態の見直し
3. 公立病院改革プランの実施状況の点検・評価・公表
4. 財政支援措置等

中津市の位置関係



中津市民病院の医療圏



中津市民病院 施設概要



- 建設年月 昭和44年11月 非耐震性
- 事業開始年月日 平成12年7月1日
- 経営形態 地方公営企業法 一部適用
- 許可病床数 250床 (一般病床)
- 診療科目 内科 心療内科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科
循環器内科 小児科 外科 呼吸器外科 小児外科
泌尿器科 放射線科 産婦人科 (産科休診中)
耳鼻いんこう科 (休診中) 麻酔科
- 看護基準 7:1 (平成20年5月1日取得)
- 建物の状況 病棟 (鉄筋コンクリート6階建)
外来・管理部門 (鉄筋コンクリート2階建)
- 敷地面積 25,048.9㎡ (7,591坪)
- 延床面積 10,458.33㎡ (3,169坪)

中津市民病院医師数（平成21年度）

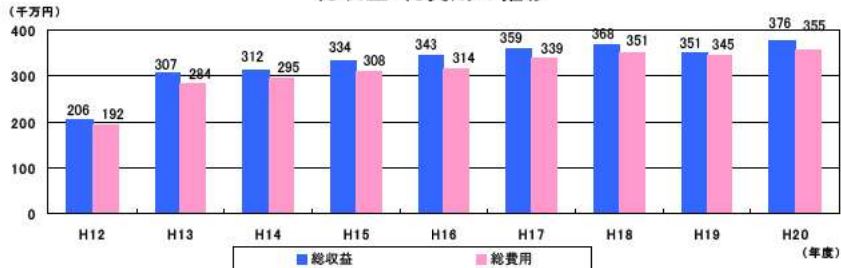
外科	7	名	内科	6	名
呼吸器外科	1		循環器内科	3	
小児外科	2		放射線科	3	
麻酔科	2		小児科	7 (+ 嘱託1)	
泌尿器科	1				
産婦人科	1				
			<hr/>		
			計 常勤33+嘱託1名		

※H20年度と比較して常勤医4名増

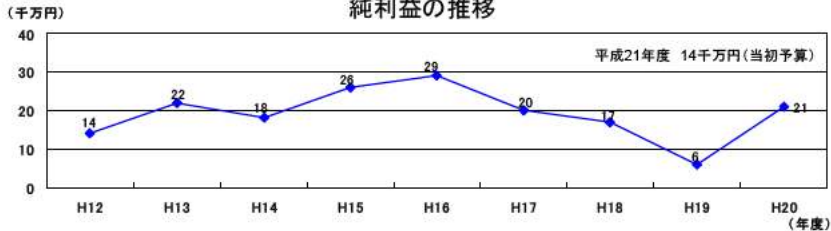
臨床研修医 管理型: 1年次 1名 2年次 1名
計 2名



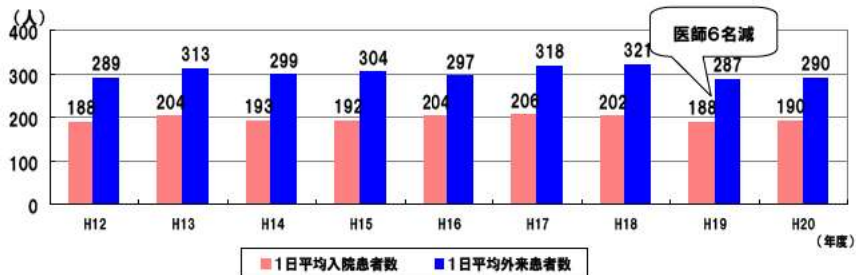
総収益・総費用の推移



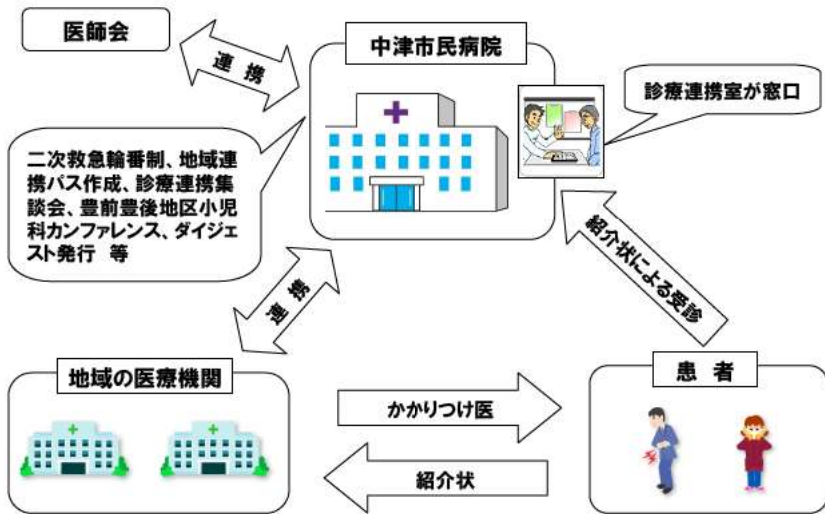
純利益の推移



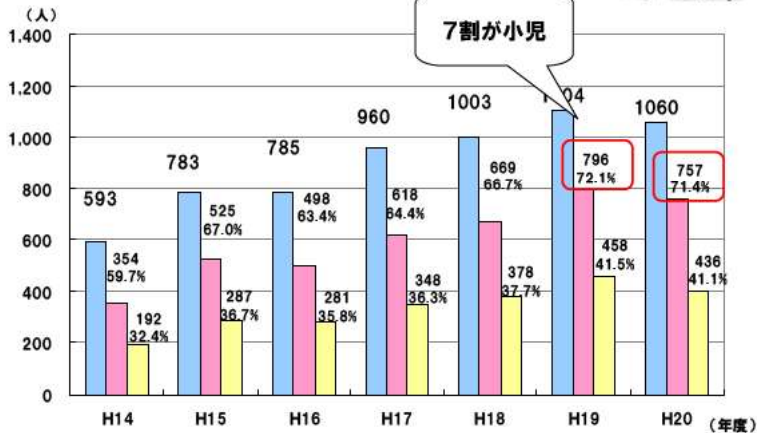
入院および外来患者数等調べ(1日当たり)



地域連携の現状



休日・夜間救急患者数(月平均)



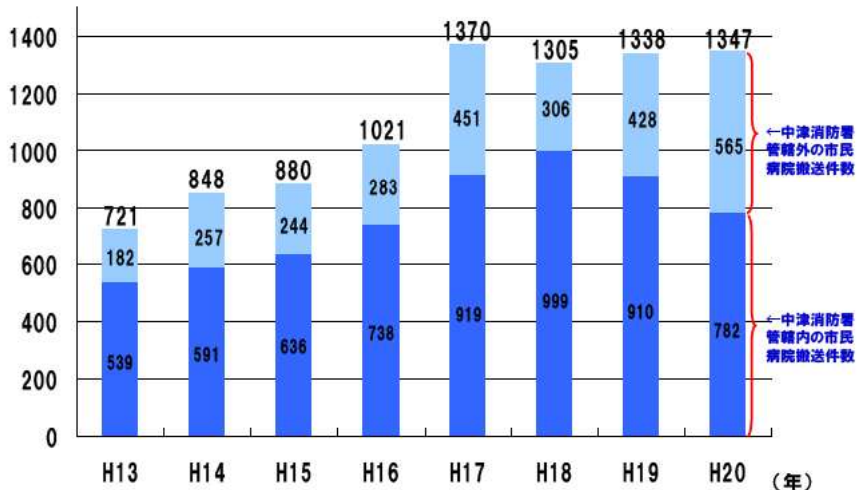
■ 休日・夜間受診患者数
 ■ うち小児科患者数
 ■ うち乳幼児患者数

中津市民病院 救急搬送件数（年間）



（件）

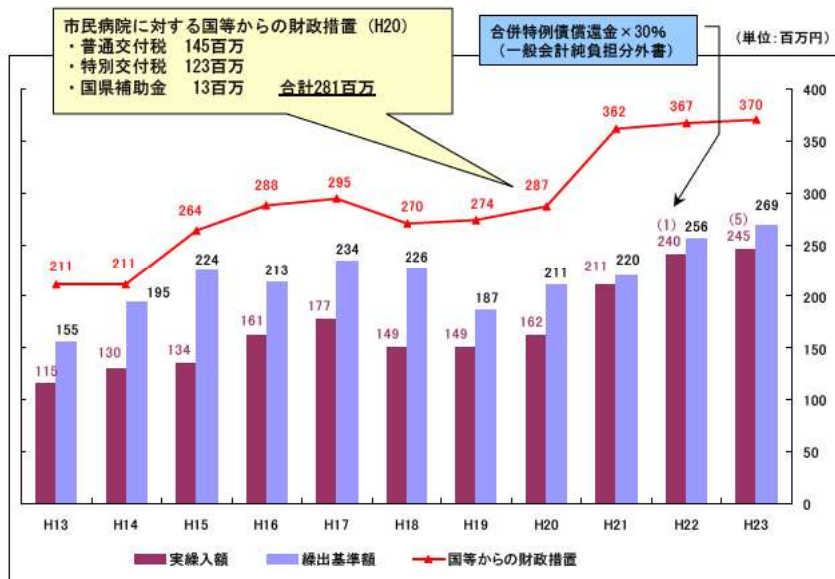
中津市民病院救急運搬の状況



公立病院として果たすべき役割

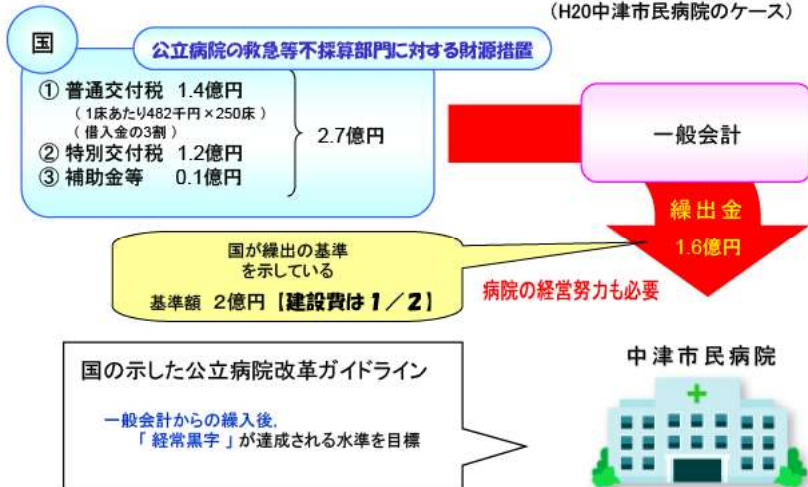
- 二次医療機能の整備・充実
(小児救急医療拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院等)
- 高度先進医療の充実
(高度放射線治療機器導入等)
- 救急医療の充実、診療科目の強化
(整形外科、脳神経外科の新設、産科の復活等)
- 災害拠点病院の機能充実
- 地域の保険・医療・介護連携の充実等
(定住自立圏構想における小児救急医療センターの設置および運営等)

一般会計における経費負担の考え方



一般会計から病院会計への繰出金のしくみ

(H20中津市民病院のケース)



一般会計からの繰出

方針

「基本的には繰出基準を上回らない方針とし、
地方交付税の措置額を勘案して協議する。」

- ※ 新病院建設事業費の1/4を一般会計が負担し、
合併特例債を充当する。
(元利償還金の70%交付税算入あり)

数値目標（主たるもの）

1. 経常収支比率及び職員給与比率

国の指導

一般会計からの所定の繰出後、最終年度（H23）において100%以上となること

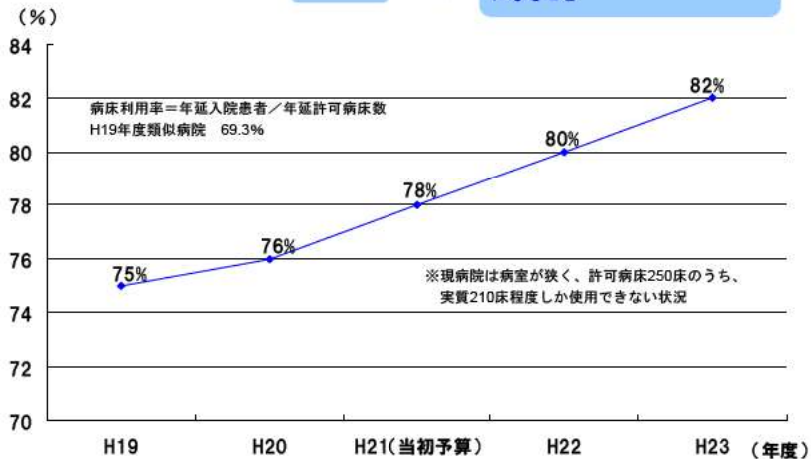


2. 病床利用率

国の指導



最終年度（H23）において70%以上になること



新病院建設工事

建設の計画（病床数250床）

- 構造 鉄筋コンクリート造
 （免震構造、一部耐震構造）
- 階数 地上5階建
- 延床面積 約17,500m²
- 駐車台数 約500台

建設工事

工事費

60億円以下（消費税含む）

- 可能な限り建設費の削減及びライフサイクルコストの縮減を図る。

（本体工事及び解体、官舎、外構工事など）

- 移設費、医療機器、什器備品、情報システムなど
に関しては除く。

新病院建設のスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度			基本設計プロポーザル				基本設計					
平成21年度	基本設計		実施設計									
平成22年度	実施設計		本体工事									
平成23年度	本体工事											
平成24年度	本体工事			準備・引越		既存病院解体・外構工事						

新病院平面図

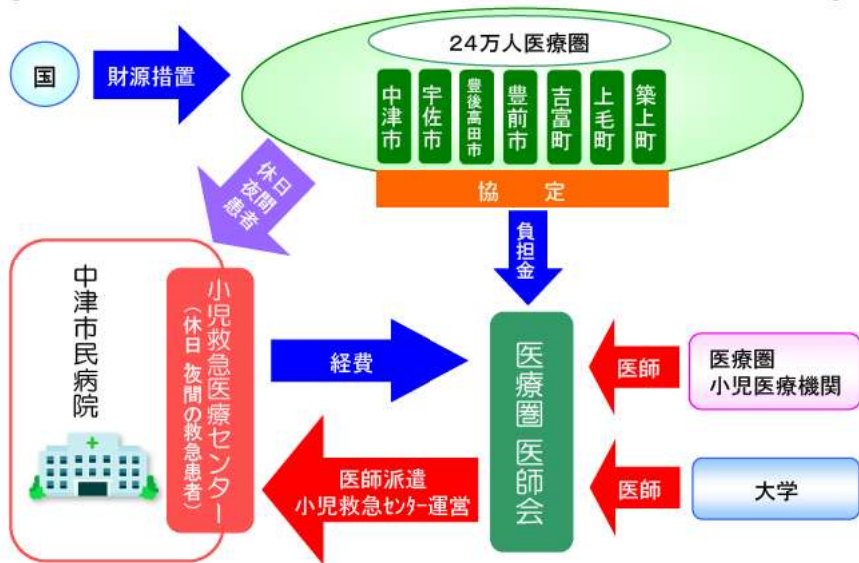


新病院イメージ図

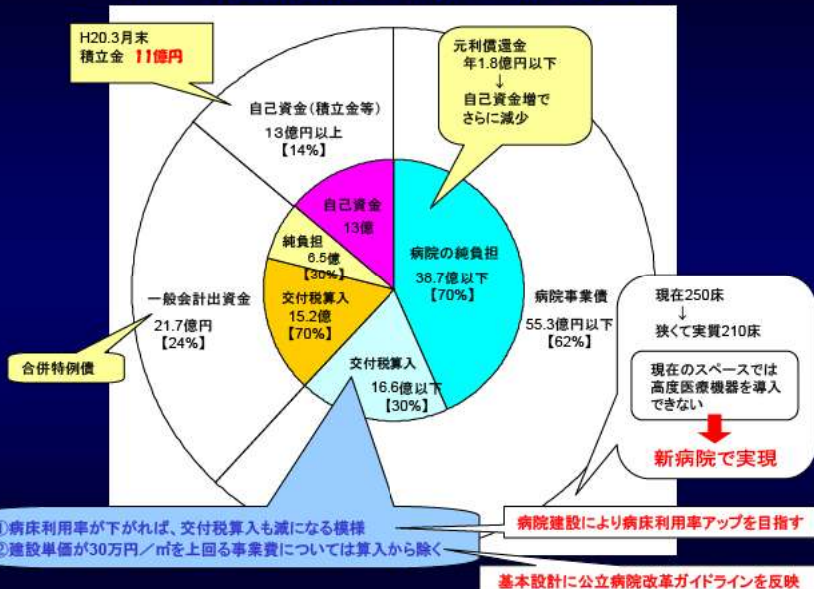


平成24年度 竣工予定

定住自立圏小児救急医療センター構想



新中津市民病院建設事業費90億円を想定



経営形態に対する方針



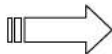
現在の地方公営企業法の
一部適用については変更しない。

- 地方公営企業法の全部適用



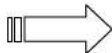
【理由】
現在、市（開設者）と病院（管理者）の連携がスムーズであり、経営も順調。したがって、全部適用にする必要性がない。

- 指定管理者制度



指定管理者が医師確保をし、将来経営を継続する確証がもてない。

- 独立行政法人
- 民間移譲



上記に同じ。

特に不採算部門の医療の提供については、公立病院の現形態の維持が必要。

再編・ネットワーク化に係る計画

再編・ネットワーク化

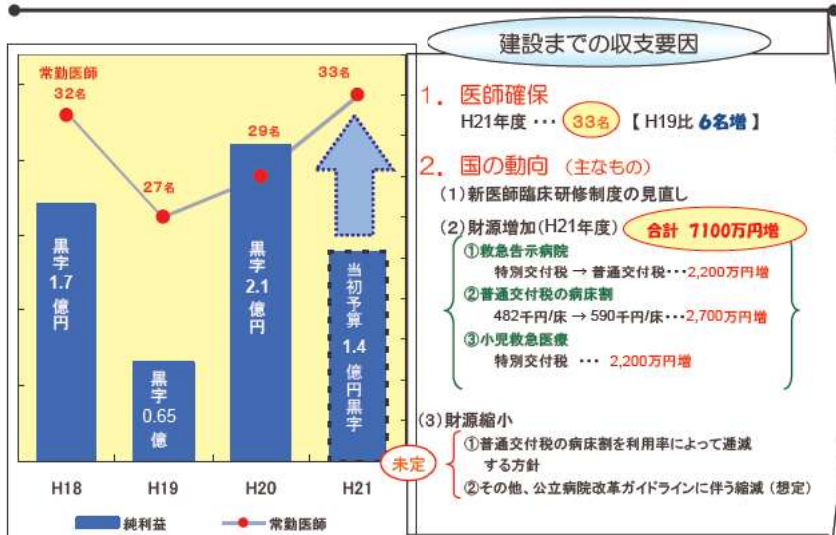


二次医療圏唯一の公的病院であり、
再編・ネットワーク化の計画はない

公立病院改革プランの実施状況の点検・評価・公表

- 点検・評価・公表等の体制
「中津市行財政改革推進委員会」を活用し、毎年度の事業報告と併せて評価点検
- 点検・公表の時期
毎年度9月末までに公表

中津市民病院の収支状況と建設までの収支要因



1. 医師確保
H21年度 … 33名 【H19比 **6名増**】

2. 国の動向 (主なもの)

- (1) 新医師臨床研修制度の見直し
- (2) 財源増加 (H21年度) 合計 **7100万円増**
 - ① 救急告示病院
特別交付税 → 普通交付税 … **2,200万円増**
 - ② 普通交付税の病床割
482千円/床 → 590千円/床 … **2,700万円増**
 - ③ 小児救急医療
特別交付税 … **2,200万円増**
- (3) 財源縮小
 - ① 普通交付税の病床割を利用率によって逡減する方針
 - ② その他、公立病院改革ガイドラインに伴う縮減 (想定)

未定

病院建設に伴う収支の考え方

建設

収支
マイナス
要因

- ① 減価償却費増 → 収益的収支 マイナス要因
- ② 借入金償還金の増
- ③ 管理コスト増

建設・管理コスト減
を目指す

収支
プラス
要因

- ① 高度医療機器導入ほか病院機能アップ
(患者増・診療報酬への反映)
- ② 現病院が狭く
実質病床210床程度 → **250床(病室を広く)**
- ③ 病室の個室増(現在、個室は5室) → 増加
- ④ その他患者医療スタッフの環境改善
- ⑤ 地域連携の更なる推進

医師確保が前提

“収支”と“資金”の推移（イメージ図）

